

お知らせ

平成22年8月18日

宍道湖におけるアオコの発生について（第1報）

状 況 平成22年8月18日（水）
国土交通省の河川パトロールにおいて、宍道湖全域でアオコの発生を確認しました。

発 生 範 囲 宍道湖全域（別紙参照）

発 生 種 ミクロキスティス

今 後 の 対 応 引き続き、国土交通省において状況の確認を行うとともに、水質調査を実施します。

提供先

島根県政記者会、松江市政記者クラブ、出雲市政記者クラブ

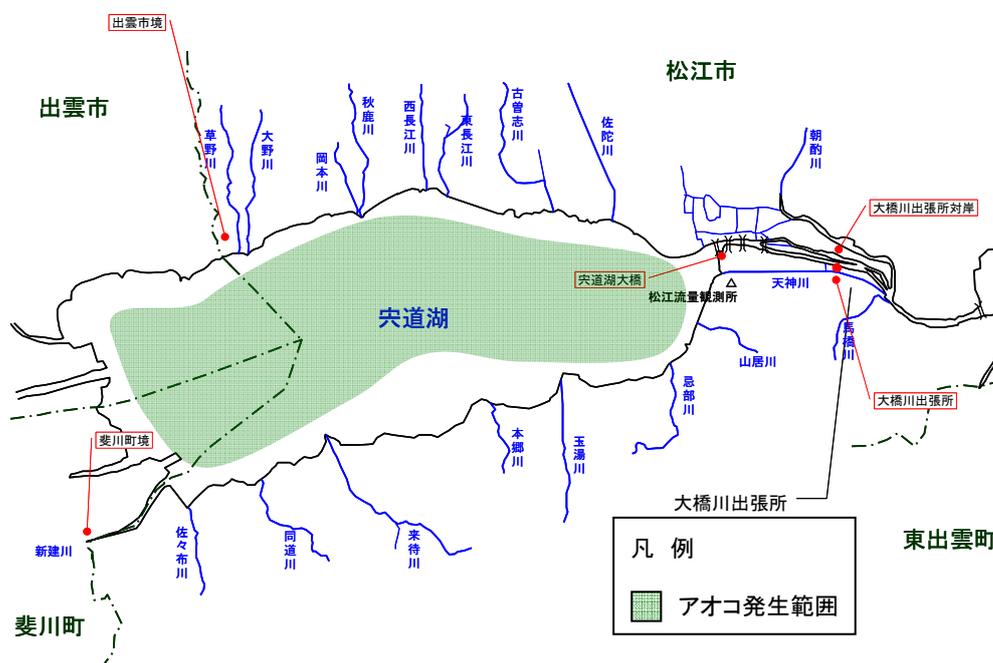
問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所 水質保全課

（担当） 水質保全課長 西尾 正博（内線371）

電話 0853-20-1763

□アオコの発生範囲



□アオコ発生の原因

アオコの原因種であるミクロキスティスは淡水性で、宍道湖においては過去何度か発生していますが、基本的には塩分濃度が低いことが前提条件となります。

今回のアオコの発生原因については、4月以降の降水量が平年に比べて多く、宍道湖内の塩分濃度が低く推移していたことと、梅雨明け以降の晴天・高温続きで湖水の水温が上昇しアオコが発生する条件に適合していたものと考えられます。

□宍道湖におけるアオコの発生状況

過去10年でアオコの発生を確認した年は、平成12年、平成16年、平成18年、平成20年である。そのうち、平成16年においては宍道湖全域で大規模なアオコ発生を確認しています。

□アオコ発生状況



出雲空港沖



宍道湖湖心



宍道湖東岸沖



松江市秋鹿沖

※ アオコ発生の写真が必要な場合は連絡いただければ提供させていただきます。
また、使用される場合は「出雲河川事務所提供」と記載をお願いします。